

# 太平中

想像力を生かそう！

～想像力のある人になろう 想像力あふれる学校にしよう 想像から行動にうつそう～

学校だより

令和8年3月25日  
第498号  
(令和7年度 第17号)

札幌市立太平中学校  
北区太平8条2丁目  
TEL 772-7961  
FAX 772-5937



<https://www.taihei-j.sapporo-c.ed.jp/>

## 新たな世界へ力強い一歩を！～第47回卒業証書授与式 学校長式辞～

校長 寺田 実

厳しかった冬の寒さがようやく終わりを告げ、希望に満ちた春の息吹を感じる今日のよき日、ここに第47回卒業証書授与式を挙げていきますことを、心より感謝申し上げます。

本日は、パートナー校の校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、そして卒業生のご家族の皆様にご臨席を賜りました。会場後方には2年生と吹奏楽部員が、また1年生はオンラインを通して、卒業生の晴れやかな姿を真剣な眼差しで見つめています。

保護者の皆様におかれましては、深い愛情を注ぎ育ててこられたお子様が、9年間の義務教育を終えられたことへの喜びは、いかばかりかと拝察いたします。これまでのご労苦に深く敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、130名の卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

皆さんが今、手にしている卒業証書は、義務教育9年間の修了の証であると同時に、中学校3年間のかけがえない思い出が詰まったものです。この日を迎えられたのは、ご家族をはじめ、皆さんを支えてくださった多くの方々が存在があったからこそであることを、どうか忘れないでください。

皆さんは本校のよき伝統を受け継ぎ、今年度は最高学年として、委員会活動や部活動など、さまざまな場面で後輩たちを力強く導いてくれました。その姿は、太平中学校の学校生活を支える大きな原動力となりました。学校祭や合唱コンクールで見せた創造力と表現力、そして心に響くハーモニーは、私たちの心を大きく揺さぶるものでした。

1年生の頃から、相手の心を思いやる想像力を大切にしてきた皆さん。小さな芽を出したあさがおが支柱を頼りに少しずつ伸びていくように、不安や戸惑いを抱えながらも、一日一日を積み重ねてきました。その歩みは、明るく素直な振る舞いと強い結束力に支えられた、確かな成長でした。

そうした日々は、喜びも悔しさも含めて皆さん自身へ宛てた一通の手紙のように心に書き留められ、今、手にしている卒業証書は、その手紙を読み終えた証です。

今、未来への扉を前に立つ皆さんに、卒業にあたり二つのことを贈ります。

一つ目は、自分の判断に責任をもつことです。

これから皆さんが進む未来では、誰も予想しなかった状況に直面することもあるでしょう。そのようなときこそ、自ら深く考え、判断し、その決断に責任をもつ覚悟が求められます。中学校で培った知識や経験は、これから多くの選択をする際の揺るがない土台となります。成功も失敗も、遠回りもあるでしょう。しかし、失敗から何を学び、どのように立ち上がるか、その積み重ねこそが、皆さんを大きく成長させ、未来を切り拓く力となるのです。

二つ目は、相手の心を想像し、人とのつながりを大切にすることです。

情報があふれ、AIが急速に進化していく時代だからこそ、何が正しいのか、何を信じ、どう行動するかを自ら考え、選び取る力が求められます。その土台となるのが、目の前にいる人の喜びや悲しみ、心の痛みに思いを寄せる感性です。

ヘレン・ケラーは、「最上の幸福は、人間関係の幸福である」という言葉を残しています。相手の立場を想像し、違いを認め合うことは決して容易ではありません。しかし、一人一人の小さな思いやりの積み重ねが、争いではなく理解によって支え合う、平和な社会を形づくっていくのだと、私は信じています。

困難に直面したとき、道に迷ったとき、皆さんを支え、勇気づけてくれるのは、家族、友人、地域の方々との信頼に満ちたつながりです。

人との絆は、皆さんがこれから歩む人生を支える、何よりも確かな力となるでしょう。このかけがえのないつながりを胸に、雨上がりの空に架かる虹のように、新たな世界へ力強く一歩を踏み出してほしいと願っています。

結びに、保護者の皆様、改めましてお子様のご卒業、誠におめでとうございます。入学以来、本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。今後とも、地域のよき理解者として、本校教育への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんの前途に幸多からんことを心より祈念し、式辞といたします。

## 第47回卒業証書授与式



## 送別集会



卒業式に式場で参加できない1年生（1年生はオンラインでの市長となります。）も一緒に、最後に全校生徒が集まり、3年生の卒業と門出をお祝いしました。合唱を中心にそれぞれの学年が工夫を凝らした発表を行い、思い出に残る素敵な時間を過ごしました。

## 学年レクで一年間の絆を確認



### Topics



- 卒業証書授与式前日に総練習を行いました。感謝の気持ちを儀式的「形」にのせて伝えてほしいと思います。
  
- 3年生にとって最後となる給食は、卒業と新たな門出を祝う赤飯でした。おかわりをしたりじゃんけんをしたりと、義務教育9年間最後の給食をおいしくいただきました。

1年生と2年生がそれぞれ今年最後の学年レクを行いました。嬉しいことも辛いこともあった1年間でしたが、そうした経験の中で一人一人が強たくたくましく成長しました。学級でつくりあげた絆を実感するとともに、次年度の新しい学級でもさらに成長してほしいと思います。